

2023/8/22 版

第 58 回 水工学に関する夏期研修会

主催：公益社団法人 土木学会

期日：対面：2023 年 8 月 31 日（木）～9 月 1 日（金）（A, B コース並行開催）

場所：対面 北海道大学 工学部

A コース（河川・水文）【行事コード：2323021】 B コース（海岸・港湾）【行事コード：2323022】

テーマ：水工学に関する国際的課題、今後我が国で取り組むべき課題



本研修会は土木学会
の CPD(継続教育)
プログラムとして認
定されています

■ 8 月 31 日（木）

A コース（河川・水文）		B コース（海岸・港湾）	
9:00～ 10:30	清水康行（北海道大学）：河川に関する国際プロジェクト iRIC を例とした国際的取り組み		
10:45～ 12:15	泉典洋（北海道大学）：河川地形力学研究の世界最前線	10:45～ 12:15	森信人（京都大学）：気候変動を考慮した沿岸ハザード評価における国際的取り組みのこれまでとこれから
13:15～ 14:45	佐藤慎司（高知工科大学）：海岸工学における学融合とグローバル化		
15:00～ 16:30	田中規夫（埼玉大学）： 植生水理学にかかわる研究動向	15:00～ 16:30	内山雄介（神戸大学）：国際的な情報発信の重要性～Coastal Engineering Journal を例に～

■ 9 月 1 日（金）

A コース（河川・水文）		B コース（海岸・港湾）	
9:00～ 10:30	山田朋人（北海道大学）： 諸外国の豪雨災害事例と気候変動を含めた風水害リスク	9:00～ 10:30	有働恵子（東北大学）： 気候変動を考慮した海岸地形研究における国際動向と今後の課題
10:45～ 12:15	片岡智哉（愛媛大学）：水圏におけるプラスチック動態に関する国際的な研究動向	10:45～ 12:15	田島芳満（東京大学）：国際的な海岸災害研究のこれまでとこれから
13:15～ 14:45	椿涼太（名古屋大学）：河川の観測に関する研究動向と我が国が取り組むべき課題	13:15～ 14:45	伊藤一教（大成建設）：ボスポラス海峡横断鉄道トンネルを対象にした国際プロジェクトと技術開発
15:00～ 16:30	手計太一（中央大学）：東南アジアにおける水工学研究の将来	15:00～ 16:30	渡部靖憲（北海道大学）：若手海岸研究者のための英文雑誌投稿への準備、執筆、査読対応の基礎講座

定員：対面講義（A コース 120 名，B コース 120 名）

受講料：一般 16,000 円，学生・院生 10,000 円

CPD 単位数：両コースとも 1 日当たり 6 単位，2 日合計 12 単位。（1 日のみの参加は 6 単位）

※参加登録をされた方は、申し込み区分に依らず全員が A, B 両コースの共通講義に参加できます。

申込方法：A コース <https://www.jsce.or.jp/events/form/2323021>

B コース <https://www.jsce.or.jp/events/form/2323022>

問合せ：土木学会研究事業課 TEL：03-3355-3559（担当：那須珠実）

備考：講義の変更等の最新情報に関しては下記のホームページをご覧ください

夏期研修会ホームページ：<https://committees.jsce.or.jp/hydraulic/node/229>